

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

マーシャル諸島の旅を終えて 深刻な被ばくの実態 日本への被災船員と共通 — 求められている科学的調査

高知県ビキニ水爆実験被災調査団
西村 雅人 (高知県宿毛高校大月分校教諭)

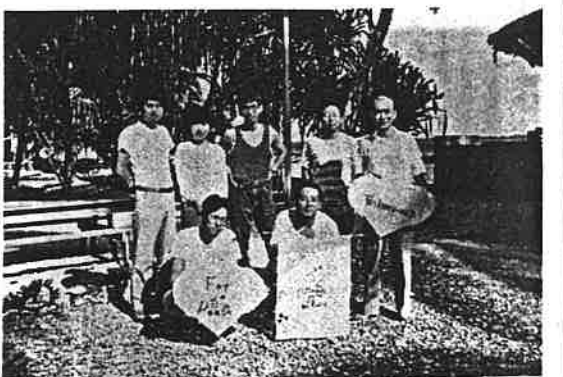
高知県でビキニ水爆実験の被災船調査を始めて二年目の今年八月、高知県ビキニ水爆実験被災調査団はマーシャル諸島訪問の旅を行った。旅行にあたって、マーシャル諸島の被ばく問題を、日本で今なお真相が隠されたままになっている無数のビキニ水爆被災船員の問題とつなげたいという思いがあった。また、平和教育の課題として「ビキニをどう教えるか」を考える教師として、マーシャル諸島での教育状況も知りたかった。こうした視点からマジユロ・イバイ・メジャットの三島を廻り、交流会や聞き取りを行った。

集会で説明に使うためとプレゼントを兼ねて、ヒロシマ・ナガサキの組写真を二セットと英文解説つきのパンフレット「ヒバクシャ」数十冊を持ち込んだ。また、高知県において第五福竜丸以外の被災船調査の火点役となった「幡多高校生ゼミナール」の生徒達が、反核平和へのメッセージを英文で風刺に寄せ書きした「平和風」を五ポイントマーシャル諸島の人々に届けることができた。

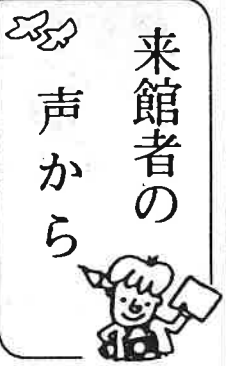
また学校教育の交流のために、マジユロの高校教育関係者を招いて懇談会を持った。マーシャル諸島の高校生の平和意識については、「平和の問題より歌ったり踊ったりすることの方に心がけられます。しかしそれは、彼等に十分な情報が与えられていないからです。日本から平和教材を送って下さい」との要請を受けた。アメリカの核戦略拠点であるマーシャル諸島では、学校の

マジュロ在住のロンゲラップ島民十五名との交流会では、ヒロシマ・ナガサキの惨状と日本でのビキニ水爆被災状況を説明し、「あなた方も、私たちの国の被ばくした人々も、同じヒバクシャです。手をつなぎあいましょ」と訴え、元ロンゲラップ島の小学校校長で被ばく者でもあるピリエット・エドモンド氏より、「マーシャル諸島へようこそ。私たちがあなた方日本人と同じように核兵器の犠牲者です。友情と兄弟愛を持って闘いに勝利しましょう」と歓迎と連帯の言葉をいただいた。

教科書のほとんどがアメリカ製であり、ビキニは教えられず、アメリカの歴史大統領の名前やアメリカの地名が教えられているという。民族の自立をうながすのでなく、自国に完全に従属させるための道具として教育を使っているアメリカのもとで、マーシャル諸島の過去と現在の正確な事実を知らせることの意味は重い。幡多の高校生の作った「平和風」を受け取ってもらい、今後とも平和学習の交流(二面につづく)



来館者の声から



おじいちゃんをつつたふね大きいね。びっくりしました。せんそうはきらいです。水ばくもきらいです(大阪市長居小一年 うえむら友一)。

私はここへ何度も来たことがあります。私が、やっぱり原はくのおそろしさをまた感じます。なんだか心配になってきます。そして二度と戦争はしないでほしい。平和のありがたさを知ってほしい。写真を見ても、こわくて、かわいそうでむねがいっぱいで、もう見たくありませんでした。

一度死んだ人は、二度とかえってこないのだから、もう二度と戦争はやめてほしい。人の命は大切なんだから、世界が平和になってほしい(江東区扇橋小六年 工藤志帆)。

想像を絶する核の恐怖に対して、私たちは、ただ祈るだけでよいのか。

でしょうか? そんな疑問を投げかけてくれました。私たちにできることは核の恐さを一人一人が確実に伝えていくことではないでしょうか。恐さを忘れかけたら、またここに来ます(大田区 長沢豊)。

是非来たいと思って、やっと実現しました。二度と起きてはならないのに、戦争の足音が聞えてきそうな昨今、大変心配です。久保山さんの御めいふくをお祈りします(原田)。

今年、第五福竜丸をテーマに構成詩を発表します。(オリジナルではありませんが)そのための資料づくりに熊本からきました。単純なことですが、思ったより船が大きかったことが第一印象です。展示されているパネルを見て読んで、怒りがこみあげてきます。私たちの学校も小さな動きかもしれないけど、本当に平和を願う子供たちが学習しとりくんでいきます(熊本県菊池郡大津中学校職員)。

説明してある所をしっかりと読みました。帰ってから、社会の自由研究として、みんなに戦争をして

はいけないことをうったえるつもりです。二度とひさんな戦争が起らないようにするために……。人々の心を傷つけないようにするために……。私たちの社会を平和にするために……。私たちが平和を守っていきたく思います(佐賀市立 城北中学 高川博子)。

妻としみじみと展示物を見ました。繰り返してはならない。

この年令になって初めて展示館に来ました。今日は日曜日ですが多くの他にもいく人もの人達が熱心にパネルや第五福竜丸を見つめています。人間ひとりの出来ることは、たとえようのないくらい小さなものでしかありません。しかし戦後四十年たった現在、人間性のかげらもない権力者によって再び第五福竜丸の乗組員が受けた、おそろくぼくには想像も出来ないような苦しみか度より多くの人々の上に襲いかかろうとしている現在、ぼくは自分に何が出来るのか。何とか見出し出したいと思えます(ながた・ひろよし)。

編集後記

▼高知県ビキニ水爆実験被災調査団では、全国調査をよびかける準備を現在すすめている。また、十一月には「全国シンポジウム」を予定している。着々とすすめられている高知の動きに呼応して、ビキニ被災追跡調査について関心を寄せる人たちが少しずつあらわれ始めている。たよりの読者からも、前号の記事に対して「知らないことは恐い、と同時に知らせないことはもっと恐い、と思います。知らせない、という壁を破る仕事を、もっとと進めなければ……」との手紙をいただいた。「福竜丸だより」でも、今後いろいろな角度からこの問題を取り上げていきたいと思う▼読者のみな様のご意見、ご感想をお待ちしております(は)。

●100万人参観者運動を!

| | |
|-------------|----------|
| 86年8月来館者数 | 6,713名 |
| 通算1カ月平均来館者数 | 5,420名 |
| 当月1日平均来館者数 | 249名 |
| 通算来館者数 | 666,710名 |



この事件の意味を知る
ある時、ラッセルの「人間に未来はあるか」(一九六一年)を読んでいたならば、ラッキー・ドラゴンという言葉に出会いました。彼は日本人漁夫がビキニの危険区域外で死の灰を浴び、世界の人間や動植物が汚染されることが証明され、水爆によって人類が減る可能性があるが出てきたと言ったのです。

英語副読本「第五福竜丸」を作る

鈴木 光治

(静岡県島田商業高校教諭)

静岡県において、この事件に衝撃を受け、雨が降る度に放射能を恐れ、魚がしばらく食べられなかつた経験を持つ私も、いつの間にか忘れかけていました。その時ラッセルに、この事件の人類にとっての意味を学んだのです。彼は世界の科学者が国境を越えて人類の生存のために協力しなくてはと「ラッセル・アインシュタイン声明」を出し、さらにバグウォン会議を開催したというラッセルの思索と行動力に感銘を受けました。英語の一教師として、「英語で

この大事件を教えたい」と考えるようになったのです。
英語で教える
なかなか教材が見つかりません。何年かすぎたころ、友人が送ってくれたのが、カナダの作家サラフさんが「原子科学者会報」に書かれた「ザ・ラッキー・ドラゴン」(一九七八年)という論文でした。これはわずか数頁ですが大変良くまとまっています。感心し、商業高校の三年生に直ちに教えてみました。英語が難しいので注をつけ、資料も配布しました。この反応はすばらしく、この事件を知らなかったのは「恥しい」と多くの生徒が書き、知っていても「勉強してみても驚くことばかり」で「今まであまり考えたことなかった世界の平和を、この勉強でひしひしと感じています」と言うのです。
この教えた結果を、日教組の全国教育研究会で発表しましたが、英文が難しすぎると言われてしまいました。
そこで、勇気をふるって自分で書きあげようと決心しました。そのころ三友社という英語専門の出版社が、高校生の英語副読本にラッキー・ドラゴンをとってくれ

ました。それから二年、長すぎると言われては削り、ドラマがないと書き替え、なるべく平易な英語を使い、やっと出来あがりました。焼津の中学校の先生が、使ってくると聞いた時、苦心のかけがあつたと思いました。
私も、この本の抜粋を高校三年生に教えてみました。反応は数年前とは違っていました。知らないで恥ずかしいという素朴な感想は消え、原水爆の恐ろしさ、放射能のこわさや悲惨さをあげただけでなく、核実験も否定しているのです。「核の冬」や「悪魔の兵器」という言葉を使用し、「なぜ軍事費ばかりを増やすのか」とか「日本人が立ちあがらなくては」とか「三月一日の行進に参加してみたい」と言うのです。現在の核をめぐる状況の深刻さを、高校生は大人以上にひしひしと感じ、この事件に深い関心を示します。

英語副読本「第五福竜丸」
発行 三友出版社
定価 三五〇円



を約束した。
被ばくの実態はやはり深刻なものがあつた。「私には全てが遅すぎる」と語ったイバイ島のリジョンさん(39才女)は、七回も流産・死産を繰り返した。このため離婚したという。姉には子供が二人おり、一人は生れてからこれまで二十年間歩いたことがなく、もう一人はロンゲラップに帰島してから急にしゃべれなくなった。甲状腺障害のため子供のまま成長がとまった室戸では高校生による被災漁船員の調査が行なわれた(八月六日)。



アイク・リクロンさん(31才男)は精神障害者となつて居る。メジャト島では私たちが着く六日前に生れつき心臓に欠陥を持った少女キャロルが寝たきりの九年の短い生涯を終えていた。ほとんどの人が放射能による「緩慢な死」肉体の崩壊に直面しながら、放置されたまま生活していた。「アメリカは充分な治療をしてくれない。良い医者が欲しい」と誰もが言う。ネルソン・アンジャイン氏は、「今まで八回も日本に行つてロンゲラップのことを訴えて来たのに、日

マーシャル諸島旅行日記より

八月二四日 八時頃、ようやくボートが出航。約八時間の航海の後スコールの中メジャト島に到着。島の診療所を宿舎として提供される。生まれた時から心臓に障害を持つ寝たきりの子供、キャロル(9才)の、死後六日目の儀式が行なわれていた。キャロルの墓のそばにもう一つの新しい墓があり、共に島の美しい花が飾られていた。大切な儀式をこわす訳にいかず、聞きとり調査は一人だけ行ない、交流会は断念する。

本から医者に来てくれない、どうしてですか」と強い口調で語った。マーシャル諸島の被ばく者救済の問題は、日本にとって他人事ではない。同じビキニ水爆の犠牲者が多数わが国にいるからだ。八五六隻(政府公表)もの放射能汚染の船を出しながら、第五福竜丸以外の船員の実態は不明のままである。高知県では、「死の灰を浴びた」水爆を見た「同船者が次々とガンで死んだ」ビキニ以来入退院を繰り返している」との証言を得ている。日本被災船員は深刻な健康状況に

※証言 ボルカイン・アンジャイン

キャロルは生まれた時、息がハアハアとしていたので心臓が悪いと思つた。立つことができず座ったままだった。AECは放射線との因果関係は認めていないが、自分は放射線のせいだと思ふ。いろんな医者にみてもらった。ロンゲラップ島やマジューロで政府の医者に。

八月二五日 見送りに来てくれたボルカイン・アンジャイン氏にキャロルの写真が載っている写真集「グッドバイ・ロンゲラップ」をプレゼントし、メジャト島に別れを告げる。 △西村記▽



ありし日のキャロル(「グッドバイ・ロンゲラップ」より)。

置かれながら放置されている点で、マーシャル諸島の被ばく者と同じだ。両者は科学的調査という共通の課題を提示している。双方の実態解明は互いに役立つものとなるはずだ。来年、マーシャル政府の費用(約七億円)で実態調査が予定されている。日本の科学者と医師はこの調査に協力し、日本の被災船員の調査を行ない、両者を関連させてゆくことが求められている。日本の科学・医学に期待したい。